令和７年度　第 76 回全九中熊本大会だより

肥後のまなざし

熊本大会シンボルマーク
「むしゃんよか」

令和７年 12 月 12 日発行
第４号
実行委員会事務局部
東　浩二（藤園中）
大森　健（江原中）
猿渡功治（帯山中）
大園隆明（校長会事務局）
田代和枝（校長会事務局）

今年度８月 20～22 日にかけて行われた全九州中学校長研究大会熊本大会は、九州全県から 612 名の中学校の校長先生方に参加いただき、大盛況のうちに終了することができました。ひとえに熊本県校長会の皆さまをはじめ、後援並びに準備や運営に関わっていただきました関係各位、主体的に参加いただきました皆さまのお力添えのおかげです。今回の大会での学びを各学校経営や参加された方々のキャリアアップとしてご活用いただければと思います。

また、県外から来られた多くの校長先生方には、本大会を通して、熊本県、熊本市の教育の魅力を伝えるとともに、熊本の便利さや心温まるおもてなしを感じていただけたものと思います。熊本の中学校長の力が集結された素晴らしい大会だったと自負するところです。

大会日程及び会場			9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30
8月20日	水	ホテルキャッスル											受付	常任幹事会		大会運営連絡会		
8月21日	木	熊本城ホール	受付	開会式		10:35 全体会Ⅰ		11:20 移動昼食			12:50 分科会							16:10終了
8月22日	金	熊本城ホール	受付	全体会Ⅱ	9:45 記念講演			11:20 閉会式		11:40終了								

1. 各セッションの振り返り

①常任幹事会　全日中会長(1)、各県会長(7)、熊本県実行委員会(10)、全日中事務局長(1)、熊本県中学校長会事務局(2)の 21 名が参加し、全九州中学校長協議会の運営及び全九中校長研究大会について協議しました。

②大会運営連絡会　常任幹事会のメンバーに加えて、「６分科会」の提案者、司会者、運営委員、会場責任者の 62 名が参加し、大会日程及び大会運営について説明と連絡が行われ、分科会別打合せが行われました。

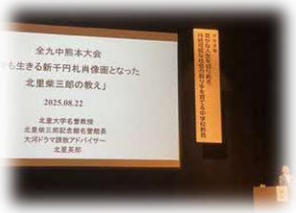
③開会式　来賓祝辞として、熊本県知事木村敬様の代理で熊本県副知事の竹内信義様、熊本市長大西一史様の代理で副市長の田中俊実様に祝辞をいただき、前年度に会長及び常任幹事等を退任され出席いただいた４名の方に感謝状と記念品の贈呈を行いました。

④全体会Ⅰ　全日中会長の青海正様より全日中報告、白川中の松永憲治校長（研究部長）より研究主題の説明が行われました。

⑤分科会　６つの分科会に分かれて、①「カリキュラム・マネジメント」の推進、②「主体的・対話的で深い学び」の実現、③よりよく生きようとする道徳教育と、健康で豊かな生活を実現するための教育の充実、④一人一人のキャリア教育・進路指導と自己指導能力を育成する生徒指導の充実、⑤「令和の日本型学校教育」を担う教師の育成、⑥学校と地域の連携・協働による「チーム学校」と「働き方改革」の実現を、各分科会の研究主題に沿って班別協議を行い、情報交換及び研修を深めました。

⑥全体会Ⅱ　八代第六中の山口敬介校長（大会宣言文起草委員長）より大会宣言文報告が行われました

⑦記念講演　講師に北里大学名誉教授、藤田医科大学客員教授の北里英郎氏を招き、「今も生きる新千円札肖像画となった北里柴三郎の教え」を演題に記念講演が行われ、謝辞を小国中の真嶋剛校長が述べられました。



⑧閉会式
江南中の星田正治校長（大会会長）と次期開催県（鹿児島）の森園守様より挨拶がありました。

2. 総括

① 大会期日については、猛暑及び台風の影響で様々な意見が聞かれるものの「この期日でよい」が８割以上を占めています。21 日が出校日であったり、始業式の直前であったりしたようですので、各学校で学校行事等との調整が必要であったようです。

② 大会組織については、前年度に準備委員会、今年度に入って実行委員会という二段構えで進めてきました。

部長会、各部会、実行委員会、拡大実行委員会を適時行い、前年度の視察を参考に、各部長が事務局と打ち合わせを行い、各部の校長先生方に協力いただきながら、各部間の連携を図り、できることを、できる範囲で行えたのがとても良かったと思います。特に校長会事務局の方々には事前準備や調整を計画的かつ早め早めに行っていただき、縁の下の力持ちとなって進めていただいたことに、心より感謝いたしております。

③ 常任幹事会では、九州各県の会長より、熊本大会の開催に対して好意的な労いの言葉をいただきました。

④ 大会運営連絡会は、各分科会の関係者の初顔合わせの場となったこともあって、緊張感はあったと思いますが、熊本県の校長先生方の進行や声かけでとても円滑に進めることができました。

⑤ 全体会、分科会については、前回大会より分科会での協議時間を 20 分延長してことで各県の校長先生方と活発な意見交換ができたことがとても良かったようです。また、会場が一つの会場で移動時間等が少なかったこと、熊本を代表するきれいな会場であったこと、国旗、県旗、全日中旗、横断幕、垂れ幕等の配置が良く、ステージの見栄えが良かったことなどが、参加者の研修意欲にもつながったものと考えられます。さらに運営に関わった校長先生方のスムーズな対応及び熊本県の校長先生方の各会場や研修等でのリードが好意的な感想に表れていました。全体会司会の芳野中の武藤敦子校長による軽快な司会も大好評でした。熊本県中学校長会全体の成果だと感じました。

⑥ 各企画については、二次元コードを活用した、受付とアンケートの導入で手続きの簡略化を図りました。また、資料の表紙や待ち時間のプレゼンで熊本の魅力発信、昼食のお弁当は会場での食べやすさを追求し、見た目の良さと熊本ならではの料理にこだわったところが、良かったと思いました。今大会のシンボルマークの作成も、熊本をイメージする華やかなシンボルマークを桜木中の林田敬二郎校長にご提供いただき、熊本の校長にとっても、改めて熊本の「むしゃんよか」ところを確認できたところです。さらに、何といってもくまモンの登場は、今大会を大いに盛り上げてくれたものと感じています。すべての企画に熊本県中学校長会の「おもてなしの心」が行き届いていた素晴らしい企画だったと感じました。中学校長会のレガシーとして受け継いでいければと思いました。

【「おもてなし」の心で、九州の中学校長会を盛り上げる】（全日本中学校長会機関誌「中学校」の校長会だより掲載）

令和 7 年度は熊本県中学校長会にとって“むしゃんよか*”年にする決意のスタートとなりました。今年度は、全九州中学校長協議会とともに、第 76 回全九州中学校長研究大会熊本大会の主催団体としての年を迎えており、前年度より準備委員会を立ち上げて準備を進めてまいりました。大会運営等の主管として、講師や会場の選定から、研修内容の調整まで、多くの準備が必要で、今年度に入ってからは、実行委員会に引継ぎ、５つの部会で役割を担いながら綿密な協議と実践を重ね、当日を迎えることができました。記念講演の講師は北里柴三郎の曾孫である北里英郎様をお招きし、会場は全体会と分科会を一会場で完結できる熊本城ホールを準備することができました。

参加された九州各県の皆様には、「豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手を育てる中学校教育」を大会主題として研究大会の醍醐味を十分味わっていただけたものと思います。今後、本研究会の成果を、学校経営のさらなる充実と学校からの教育改革に生かしていただければと思っています。

熊本県中学校長会は、定期的に様々な会合や研修会を開催し、日々の教育環境や学校経営の改善、向上を目指して活動しています。特に政令指定都市が所属する県校長会として、熊本県と熊本市との調和を図りながら、各課題に対する情報共有と研究活動の充実、教育委員会への要望活動、多様な研修機会の提供などに取り組んでいます。

＊むしゃんよか…熊本弁でかっこいい、素敵の意味

研究大会前には出せなかったので県民向けのランキング

【熊本アピール！ぜひ飲んでほしいくまもとのお酒編】

第一位は、各自のお好みをアピール！
第二位「産土　（うぶすな）：花の香酒造」←帯山中猿渡校長のおすすめ
第三位「香露：熊本県酒造研究所」
第四位「れいざん：千代の園」
第五位「菊鹿ワイン」
第六位「瑞鷹」
番外編「オーデンの陶器ジョッキで飲むビール」

※順位は事務局部で勝手につけました

次は鹿児島！

全九州中学校長研究大会鹿児島大会まで約８か月
大会期日は
令和８年
　８月２７
　　～２８日
場所：鹿児島市
楽しみに参加
しましょう